



東海道どまん中。  
ここらでちよつと、ひとやすみ。

# 東海道五十三次 どまん中 袋井宿



## 東海道 今昔

◎広重の東海道五十三次  
袋井「出茶屋」図解説  
東海道脇に茂った榎の幹に半ば隠れて境界を示す傍示杭が立っている。その向かい側には宿場に止宿予定の大名を知らせた関札が立っている。ここはおそらく榎鼻で袋井宿の東の入口を示した絵であろう。宿場の外れには旅人や入足が休憩できるようなと茶屋があるのが普通であった。常設の茶屋がない所には、この絵のような出茶屋があった。  
榎の木の根元に木の杭で囲んだ土盛りを築き、その上にむし

ろが敷いてある。その上をよしず張りの屋根が覆っている。屋根の棟木からは旅行者に売るわらじが吊り下がっている。また榎の枝から吊り下がった縄には湯沸かし用の銅製のやかんが結わえてある。下のへついで燃やす薪を女が火箸でかき回しており、火がつかなくてくすぶった煙がもうもうと立ち上って行く。家紋のある腹掛をした定飛脚の幸領がむしろの上に腰を下ろして茶を飲みながら煙草を吸っている…。

(人文社刊「天保懐宝道中図で迎える広重の東海道五拾三次旅景色」より抜粋)

## 袋井宿周辺地図



### 袋井市役所産業政策課

〒437-8666 袋井市新屋一丁目1番地の1  
(袋井市観光案内所：JR袋井駅前)  
電話0538-44-3156 ファックス0538-44-3189  
URL <http://www.city.fukuroi.shizuoka.jp>

### 東海道どまん中茶屋

〒437-0026 袋井市袋井339 電話0538-44-8595



元和二年(1616年)に開設された袋井宿は、本陣3軒、旅籠50軒をつらね、諸大名の参勤交代を始め、商人、秋葉への参拝客などで賑わう宿場町でした。東西交通の要衝として、様々な人々が行き交い、寺社隆盛に彩られた袋井。遠い昔に想いをはせてみると、散策の楽しみもひときわ深まってきます。



【袋井宿本陣宿帳】  
東本陣の宿帳として、元和四年から寛永十年までの十七年間の記録が残されており、袋井宿開設当初の利用状況を知る唯の貴重な資料となっています。

県道磐田袋井線(旧国道1号)

袋井市役所

袋井警察署

至掛川

東海道どまん中茶屋

天橋

東海道の松並木と土塁  
富士浅間宮の赤鳥居  
新屋秋葉燈籠

丸尻工房(天野)

至磐田

御幸橋

旧東海道

澤野医院記念館  
木原復元一里塚  
木原駿古戦場

本町宿場公園

袋井宿場公園

【袋井宿概要】  
人口 / 843人  
家数 / 195軒  
本陣 / 3  
旅籠 / 50軒  
(天保14年=1843)



原野谷川

静橋

原野谷川

和橋

至袋井駅

宇刈川にかかる木橋風の橋で、隣の本町宿場公園とともに、歴史的風情をかたちづけています。

### 御幸橋



袋井宿の西の玄関にあたる御幸橋のたもとに、当時を偲ばせる高札場や土塁、「従是袋井宿」と記された棒鼻などを再現し、袋井宿の景観をイメージしていただけるようにした小公園です。



### 本町宿場公園

東海道五十三次どまん中「袋井宿」のシンボル。歴史的雰囲気を中心に伝える空間として整備され、石や芝の配列により本陣の間取りが表記されています。小庭園、冠木門も作られ、市民の憩いの場とするとともに、学校教育、生涯学習の生の教材として整備されました。



### 袋井宿東本陣公園

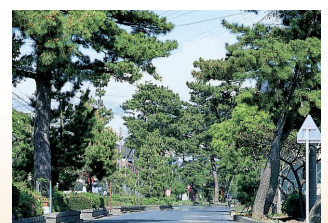


お気軽ににお立ち寄りください。  
**東海道どまん中茶屋**  
袋井宿の東の入口に、初代広重が描いた「東海道五十三次袋井出茶屋ノ図」をモチーフに建てられた茶屋。市民の憩いの場として、また旅人の休憩の場として訪れる人が後をたちません。茶屋内では地元の方々による湯茶等のもてなしをしています。是非一度お立ち寄りください。  
☎0538-44-8595  
営業時間 / 午前9時〜午後4時  
定休日 / 月曜(祝日の場合は翌日)、年末年始



茶屋の前の四季の花々は旅人の心を癒してくれます。

茶屋内の囲炉裏端を囲んで一服すれば、話に花が咲きます。



### 松並木と土塁

袋井の名栗・上貫名から久津部・新屋の間には、東海道の松並木と土塁がよく残っています。土塁とは街道の両側に続く帯状の土の高まりをいいます。東海道400周年を記念し、長さ約1.5kmにわたり、この土塁と松並木北側に遊歩道が整備されました。ぜひ一度歩いてみてください。

### 観福寺(へそ寺)

東海道五十三次のどまん中、袋井宿の中心部に位置する公園で、宿場の雰囲気醸し出しています。公園内の塀はギャラリーとしても利用されています。



### 袋井宿場公園

曹洞宗の寺院として寛永8年(一六三三)に活峰宗達和尚が可睡斎の等膳和尚を招き開山したのが始まりとされています。東海道どまん中「袋井宿」の真中に位置するため「へそ寺」と愛称がつけました。  
袋井市袋井186-1  
☎0538-42-4050